



2025年1月15日

各 位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード：4563 東証グロース)
問合せ先 広報・IRグループ
<https://www.anges.co.jp/contact/>

改良型 DNA ワクチンの経鼻投与製剤に関する共同研究の成果及び終了に関するお知らせ

当社は、2022年9月7日に「改良型 DNA ワクチンの経鼻投与製剤に関する米国スタンフォード大学との共同研究契約の締結について」において公表いたしました共同研究の成果として、新型コロナウイルス感染症を含むウイルス性肺疾患に対する DNA ワクチンに適用できる新しい薬物送達システム (Drug Delivery System : DDS)*を開発することが出来ましたのでお知らせいたします。

当社は、スタンフォード大学医学部教授である Dr. Ramasamy Paulmurugan 及び Dr. Tarik Massoud が開発した「Gold-Nanostar Octopod」技術と、当社が持つ DNA ワクチン技術を組み合わせ、新型コロナウイルス感染症を含むウイルス性肺疾患に対し、広範な免疫応答を刺激し、ウイルスの増殖防止、拡散の阻止が期待される改良型 DNA ワクチンの経鼻投与製剤の共同研究を2年余り進めてきました。

その結果、当該 DDS を改良し、改良型 DNA ワクチンの経鼻投与に用いる技術として優れた新規の DDS の開発に成功しました。新規 DDS は脂質ナノ粒子 (lipid nanoparticle : LNP) を用いないことから副作用の少ないワクチン投与方法として期待できます。

本成果を利用した改良型 DNA ワクチン開発につきましては、新型コロナウイルスによるパンデミックが鎮静化しつつある現状に鑑み、当社経営資源の有効活用の面から、当面は見合わせることにいたします。また、スタンフォード大学医学部との改良型 DNA ワクチンの経鼻投与製剤に関する共同研究は、当初の目標を達成したことから終了いたします。今後は、新たなウイルス性肺疾患等のパンデミックが発生した際に、本共同研究の成果として得られた新規 DDS を利用して、速やかに新たなワクチン開発に取り組めるように備えてまいります。さらに、今後当社での薬剤開発においてもその活用を検討してまいります。

本共同研究の終了による当社の当連結会計年度における連結業績、財政状態への影響はありません。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上

* 薬物送達システム (Drug Delivery System : DDS)

体内で、薬物の効果を最大限に高め、副作用を最小限に抑えることを目的として、薬物を適切な時間と速度で目的の部位に必要な量を送達できるようにするための技術で、投薬量の減少も期待できます